



ケロちゃん通信

2021年 3月 第69号



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック
 〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryu-seikyoku.jp/>

☆ 新型コロナの患者数も減少し、第3波も収束しつつあります。ワクチン接種も始まろうとしており、少し明るい兆しもみえてきました。ワクチンはコロナの予防だけでなく、心の安心のワクチンにもなってほしいものです。東京オリンピック・パラリンピックも先行き不透明ですが、みんなが楽しめる夏になってほしいです。

☆ 今年の冬はインフルエンザのない冬です。今年のような1、2月は初めて経験しました。まだ春先の流行が起きる可能性もありますが、どうしてでしょうか？ 毎年予防接種をしても1000万人以上の方が罹患し1万人以上が死亡しているインフルエンザを予防できた？ ことも新型コロナ対策のおかげでしょうか。冬に流行するRSウイルスもほとんどみません。ただお母さんから感染する突発性発疹は減っていないようです。溶連菌、アデノウイルスも健在です。ウイルスや細菌の種類によってどうしてこのような差がでるのかも不思議ですが、今後の対策にも何か役立ちそうなメッセージなのかもしれません。

☆ 当院では新型コロナウイルスの抗原検査、PCR検査を行っておりません。ご希望の方は、新潟県新型コロナ受診・相談センター(025-256-8275)または長岡保健所(0258-33-4932)にご相談ください。

☆ スギ花粉症やダニによるアレルギー性鼻炎でお悩みの方は、当院でも舌下免疫療法を行っておりますのでご相談ください。スギ花粉症は、シーズンの始まる2-6月は新規に開始することはできませんのご注意ください。

3月の診療予定: 本間医師 (5日午前・午後 12日午前)

診療案内

・感染予防のため、発熱、かぜなどの急性疾患を主に診る一般外来と慢性疾患(感染性のない疾患や定期処方など)を診る慢性外来の診療時間を分けています。

時間	月	火	水	木	金	土
8:30	一般外来 (急性疾患)					
11:00	予防接種 (1歳以上)					10:30 ~
12:00	慢性外来					
13:45	予防接種 健診 (1歳未満)					
15:00	予防接種 (1歳以上)					
16:00	慢性外来					
17:30	一般外来 (急性疾患)					

・午前11:00-12:00、午後13:45-1600、
 土曜日午前10:30-12:00は、一般診察はできませんので、
 ご協力お願いいたします

・スマイリーでは、急性疾患は「一般外来」から、慢性疾患・定期処方等は「慢性外来」からご予約ください。
 ・もちろん、急を要するような場合には、すぐにご連絡ください。詳しくはホームページのお知らせをご覧ください。

ブコラム[®](ミダゾラム口腔用液)について

- ・20年ほど前までは、けいれんを起こして止まらない場合、まずジアゼパム(セルシン[®]、ホリゾン[®])という薬の静脈注射を行っていました。しかし、急速に注射をすると、呼吸抑制がみられることがあり、気管挿管、人工呼吸器管理になることも稀ならずありました。また水溶性でないため、溶けにくく、静注時にも痛みを感じる薬剤でした。その副作用を避けるため、ミダゾラム(ドルミカム[®])という薬剤が使われるようになりました。
- ・ミダゾラムは、前述のジアゼパムの欠点をほぼ補っている薬剤です。ジアゼパムより抗けいれん作用が2、3倍強く、呼吸抑制作用が少なく、半減期が短いためすぐに覚醒し、水溶性であるため注射しても痛くなく、静注でも希釈して持続点滴したり、筋注、鼻腔投与、口腔内投与ができるというメリットもありました。
- ・しかし、問題はミダゾラムが麻酔薬としての保険適応しかなく、けいれん重積に対しては保険適応外使用になり、その結果に関しては医師の個人責任になってしまうことでした。この状況(理論的、経験的にはとても良い薬なのに法律的に使いづらい)を改善するために厚労省の研究班でもとり組み、私もその班員として研究協力していました。
- ・そのような経過を経て、けいれん重積にも保険適応のあるミダゾラムの静注薬としてミダフレッサ[®]が2014年に発売されました。それに続き、2020年に口腔内投与のためのブコラム[®]が発売されました。
- ・ミダゾラムの口腔内投与製剤は、イギリスなどでは20年以上前から歯科で小児治療をする場合の鎮静薬として使用されていました。

- ・日本ではミダゾラムの口腔内投与は、ミダゾラムの注射薬(ドルミカム[®])の原液を点鼻、口腔内投与という形で、倫理委員会です承および本人、家族の同意の上、今までもおこなわれてきました。今後、けいれん重積と診断すれば医師の判断で、ブコラム[®]を使用できるようになります。
- ・難治性てんかんのけいれん重積の場合に、家庭内などで保護者が行う場合と、病院、診療所で処置として使用する場合があります。当院で使用するのは診療所内での処置で行う場合に限られますが、来院中にけいれんを起こして止まらない場合に有用だと思えます。もちろんこれで止まらなければ、その次の段階、静注や救急病院への搬送が必要になります。
- ・使用法は、けいれんが止まらないお子さんに、ブコラム[®]を年齢に応じた量を、歯ぐきとほほの間に流しこむだけです。けいれんで歯を食いしばっていても使えます。
- ・熱性けいれんの予防薬として使われているダイアップ座薬[®]は、あくまでも予防薬であり、目の前で起きているけいれんを止めるための薬ではありません。ブコラム[®]は目の前のけいれんを止めるためのお薬です。
- ・いずれにしても、けいれんに対する簡便に行える治療の選択肢が増え、けいれんを持つお子様にとっても朗報と思われれます。

